

生田緑地におけるサイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoides* Tagawa の初記録について

田村成美\*・大貫はるみ\*・高中健一郎\*\*

A first record of *Polystichum pseudomakinoides* Tagawa in Ikuta Ryokuchi Park, Kawasaki City.

Narumi Tamura\*, Harumi Ohnuki\* and Kenichiro Takanaka\*\*

## はじめに

これまで、神奈川県におけるサイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoides* Tagawa の生息について、県内では相模川より西の地域において広い範囲に散在し、東では横浜市北西部に稀に分布していることが確認されている(神奈川県植物誌調査会編, 2018)。一方、川崎市内に生息するシダ植物については、宮本ら(1991; 2007; 2011; 2016)や大貫ら(2011)によって報告されており、117種3変種3品種17雑種、合計140分類群が確認されているが(宮本ほか, 2016)、サイゴクイノデは記録されていない。

今回、著者らは、川崎市多摩区に位置する生田緑地にて、サイゴクイノデの生息を確認したため、本稿にて記録を報告する。学名については、神奈川県植物誌 2018(神奈川県植物誌調査会編, 2018)に準じた。

## 観察記録

生田緑地は、川崎市多摩区と宮前区にまたがる多摩丘陵の一角に位置する緑地で、クヌギ *Quercus acutissima* Carruth. やコナラ *Quercus serrata* Murray を中心とした雑木林や、谷戸部の湿地、湧水等の自然環境がある。著者らは、2021年4月に生田緑地内を流れる水路の脇で、サイゴクイノデと思われるオシダ科のシダ植物の生息を確認した。

サイゴクイノデは、全長60cmから1mに達する中型から大型のシダで、葉柄基部には中央が黒褐色の広披針形の鱗片がある。孢子嚢群は小羽片の辺縁寄りにつき、特に耳垂に優先してつく(神奈川県植物誌調査会編, 2018)。また、葉面はつやがなくやや黄色味がかかった緑色をしており、葉身上部の羽片はやや急に短くなり、葉身はややホコ状になる(中池, 1992)。

水路は人工的に整備されたもので、一部が石組みで作られており、雨水由来の水が流れている。周辺には、ヤマモモ *Morella*

*rubra* Lour.; *Myrica rubra* Siebold & Zucc. やヒュウガミズキ *Corylopsis pauciflora* Siebold & Zucc. が植樹されており、キショウブ *Iris pseudacorus* L. やシャガ *Iris japonica* Thunb. などの種子植物もみられる。シダ植物は、オクマワラビ *Dryopteris uniformis* (Makino) Makino やベニシダ *Dryopteris erythrosora* (D.C.Eaton) Kuntze、マメヅタ *Lemmaphyllum Microphyllum* C. Presl などが生息していた。今回確認した株は、水路の石組みの隙間に、小さなウツギ *Deutzia crenata* Siebold & Zucc. とキショウブ、イヌワラビ *Anisocampium niponicum* (Mett.) Y. C.Liu, W.L.Chiou & M.Kato と混生しており、株元の表面はジャゴケ *Conocephalum conicum* (L.) Dumort. に覆われていた。発見時、ソーラスがついた葉が5枚あり葉の長さが40cmの株だった(図1)。葉に孢子嚢群が確認できる時期を待ち、同年6月に同個体の一部を採集し、押し葉標本を作製し、東京農業大学の宮本太教授に種の同定を依頼した。同定の結果、採集した個体がサイゴクイノデであることがわかり、川崎市で新たにサイゴクイノデが記録された。作製した標本は、川崎市青少年科学館シダ植物分野の登録番号である KMM-PT とともに付番し、収蔵されている。



図1. サイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoides* Tagawa

\*特定非営利活動法人かわさき自然調査団  
Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

\*\*川崎市青少年科学館(かわさき<sup>そら</sup>宙と緑の科学館) Kawasaki Municipal Science Museum



図 2. 生息地下流部に流されていたサイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoi* Tagawa



図 3. 移植したサイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoi* Tagawa

しかしながら、著者らが、同年 11 月に再度サイゴクイノデを確認した際に、前回確認した場所から個体が消失しており、周辺を探すと水路の 0.5m 下流の周りで、同個体を株ごと確認した (図 2)。発見した周りには、水に流され堆積した土砂がみられたことから、降雨による水量の増加で、土砂とともに流されたと思われるが、詳細は不明である。また、発見時、同個体の葉は枯れておらず、根も十分であったため、株ごと移植し、田村の自宅で育成している (図 3)。

オシダ科 Dryopteridaceae

サイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoi* Tagawa

lex, 樹形 7 丁目 (生田緑地), 20210625, 田村成美, KMM-PT-902429

## 謝辞

今回、採集個体の同定していただいた東

京農業大学の宮本太教授に心からの謝意を表す。

## 引用文献

神奈川県植物誌調査会 (編), 2018. 神奈川県植物誌 2018. pp. 161-166, 神奈川県植物誌調査会・神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

宮本 太・吉田三夫・シダ植物班, 1991. 川崎市のシダ植物相. 川崎市自然環境調査報告 II, 1-34. 川崎市教育委員会.

宮本 太・シダ植物班, 2007. 生田緑地におけるシダ植物の分布と地域植物相の解明の意義. 川崎市自然環境調査報告 VI, 83-95. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.

宮本 太・シダ植物班, 2011. 川崎市麻生区黒川谷ツ公園のシダ植物相と里山の保全. 川崎市自然環境調査報告 (VII), 23-26. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.

宮本 太・大貫はるみ・岩片紀美子・遠藤継男・片山ちとせ・島津キク江・園田明子・田村成美・田村三貴・長谷川和甫・林 美幸, 2016. 川崎市におけるシダ植物の分布状況と希少度ランク. 川崎市自然環境調査報告 (VIII), 35-48, 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.

中池敏之, 1992. 新日本植物誌シダ篇・改訂増補版. 531 pp., 至文堂, 東京.

大貫はるみ・シダ植物班, 2011. 第 7 次川崎市自然環境調査中に川崎市内で新たに採集されたシダ植物. 川崎市自然環境調査報告 (VII), 27-28. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.